

令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：非正規滞在 仮放免者の声を聞く—日本の入管制度を問う—
2. 事業種別：共催
3. 申請者：山本 かほり（愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 教授）
4. 共催：支援団体 START、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年11月24日（水） 14：00～16：30
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
／愛知県立大学長久手キャンパス K棟 多目的ホール
7. 講師：鳥井 一平 氏（NPO 移住連 代表）
8. 参加者数：60名（一般・学生）（オンライン：21名 会場：39名）

【概要】

第一部は基調講演として、NPO 移住連代表の鳥井氏に講演いただいた。

第二部は「当事者の声を聞く」と題し、支援団体 START に参加する本学学生司会のもと、東海地区在住の非正規滞在・仮放免者の方のお話を伺った。

【講座の様子（第一部）】



【チラシ】

**非正規滞在
仮放免者の声を聞く**
～日本の入管制度を問う～

受講料 **無料**

日程
2021年11月24日(水)
●14:00～16:30

鳥井一平さん

基調講演講師 鳥井一平さん (NPO移住連代表)
当事者の声を聞く 東海地区在住の非正規滞在・仮放免者たち

会場 愛知県立大学長久手キャンパス
多目的ホール(60名)/オンライン

「多文化共生」が日本社会の課題とされる一方で、「非正規滞在者」の処遇が大きな課題となっています。入管の「裁量」とされる無期限の収容、そこでの処遇、さらには仮放免者の生活保障の問題など、課題は多くあります。「多文化共生」を考える上で、なぜ「非正規滞在者」および仮放免者の問題を考える必要があるのか？ かれらもまた日本社会に生きる一員であることの認識からはじめ、私たちはこれらの問題にどう向き合うべきなのかを考えたいと思います。基調講演に鳥井一平さん(移住連代表)その後、仮放免者たちの声を支援団体STARTに参加する本学学生たちの司会で聞きたいと思います。

【講座の様子（第二部）】

